令和6年度　江戸川区立大杉小学校　学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	◎すすんでとりくむ子（知） 〇おもいやりのある子（徳） 〇けんこうな子（体）	目指す学校像 目指す子供像 目指す教師像	「明日も行きたくなる、みんなの学校」 ①自分の考えをもち、目標に向かって歩み続ける子　②ともに認め合い、助け合い、高め合う子　③健康で安全な生活を心がけ、すすんで運動する子 ①子供を深く理解し、情熱をもって育てられる教師　②着実に準備し、よくわかる・楽しい授業に努める教師 ③教育公務員としての自覚と責任をもち、子ども・保護者・地域から信頼される教師
前年度までの本校の現状	成果 ・軽微ないじめも積極的に認知、早期対応、早期解決を組織で行い、重大事態にならなかった。 ・不登校が0であったこと。 ・全教職員が「安全・安心な学校」の共通理解し、大きな事故、事件もなかった。	課題	・児童の学力の向上に向けた具体的施策と教師の授業力向上と授業改善 ・児童の体力の向上に向けた具体的施策と教師の授業力向上と授業改善 ・学校組織の強化

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」自己（学校）評価(A～D)		「中間」学校関係者評価(A～D)		「年度末」自己（学校）評価（A～D）		「年度末」学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案
				9月	2月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力の向上	〇授業改善の推進と基礎・基本の力の定着	・授業準備（板書計画・発問等）を確実に行い、「わかった」「できた」「楽しい」の授業改善を行っているかを授業観察で確認する。	・年間3回以上の授業観察による指導 ・各学年で、東京BDの正答率７０％以上を目指す。											
		・学校独自の取組である九九検定、漢字王を実施し、基礎学力の定着を図る。	・大杉小独自の検定を行い、70％以上の合格者を目指す。											
	〇読書科の充実	・「調べる学習コンクール」に参加させ、本で調べたり、探究したりする力を高めていく。	・２～6年生の児童に、夏季休業中に取り組ませ、発表させたりする機会を設ける。											
体力の向上	〇個に応じた体力向上の充実	・「体力スタンダード」を作成し、授業改善及び児童の基礎体力の向上を図る。	・児童アンケートで持久力に関する項目で９０％以上の肯定回答。											
		・週１回の全校運動遊びやなわとびウィークを実施し、運動習慣の定着を図る。	・児童アンケートで、意欲的に取り組む児童の回答が９０％以上。											
共生社会の実現に向けた教育の推進	〇全教育活動を通し、人権教育の理解と充実	・道徳授業や全校朝会などを通して、人権教育を深めていく。人との関係づくりの基礎となる挨拶を特に重視する。	・児童アンケートで挨拶などの項目で80％以上の肯定的な回答。											
	〇ユニバーサルデザインの視点を取り入れた環境づくりと個に応じた指導の充実	・巡回指導や特別支援教室専門員の活用、言葉の教室との連携を実施し、児童及び保護者への支援。	・児童アンケートで落ち着いた環境と感じる肯定的な回答が80％以上。 ・関係教員の打ち合わせを毎月2回実施。											
		・「ことばの教室」と連携し、低学年のMIMの学習を向上させる。	・MIMの結果を３回以上実施する。初回と比較し、高い数値をとる。											
不登校・いじめ対応の充実	〇豊かな心の育成	・児童の「居場所」「活躍する場」づくりを適切に設け、誰もが安心・安全と思える学校生活とする。	・児童アンケート結果で「学校が楽しい」との項目で９０％以上の回答。											
	〇いじめ防止、不登校防止研修の実施	・全教職員が、いじめ・不登校の未然防止・早期支援・早期対応への意識を高め、組織で対応する。	・いじめ防止授業と校内研修会をそれぞれ年3回以上実施する。											
	〇教育相談の強化	・SC及びSSWとの連携強化をさらに図る。	・不登校児童０、いじめがあった場合は年度内解決。											
地域社会に開かれた学校の実現	〇情報発信の充実	・学校ホームページ及びteamsuやtetoruなどで必要な情報を迅速に送る。	・学校HPの毎日更新。teamsuやtetoruでの定期的な情報発信。											
	〇学校関係者評価の充実	・児童、保護者、地域、教職員へのアンケート調査の実施。	・学校行事などを活用してアンケートを実施し、丁寧な説明及び回答を行う。											
特色ある教育の展開	〇働き方改革の推進	・月１回の定時退勤ウィークの実施	・全教職員の月残業時間45時間以下にする。											
	〇教員研修の実施	・教員に必要な資質向上を図るため教員研修を実施	・より効果の高い研修を年5回以上実施。											